

「若者が活躍できるまちづくり」の1日目のまとめ

日時:4月20日開催 場所:村半

各グループの主な意見

<Aグループ>

(1)若者の範囲

その人から見て、若いかどうか
80才の人でも、その人から見えれば70才は若者にみえる

(2)活躍とは

その人の満足度が満ちる、心地よく暮らす
生きたいように生きる、やりたいことができる
現状維持も活躍、改新的な挑戦も活躍

⇒活躍は他人が決めるのではなく、自分が決めること

(3)活躍できるまちにしていくためには

足かせになっているものを取り除いていく政策が必要

①情報を得たい人の足かせ

若者の活躍があまり知られていない、何にもないところ

②物理的な足かせ

寒くなると出かけたくなくなる、移動は車

③より良く変えたい人の足かせ

年配者が権限持ちすぎ、昔からのルール、
何となく感じる変わらなくてもよいという空気、
本決まりまでの工程が長い

④子育てする人の足かせ

子育て政策が弱い、教育ができる場が都会より少ない

<Bグループ>

(1)若者の範囲

18歳以上で社会に出た自立した若者

（高校生にはまわりのサポートがあることや高校生と社会人では、やりたいことが異なるため、今回は、高校生以外に絞った範囲を設定）

(2)活躍とは

日常の充実感、
必要とされる場面、役に立ったと感じる場面

(3)活躍に関連する項目

①ワーク

稼げない、職業の選択肢、多様な職業を知る、地元企業とのつながり

②コミュニティ

出会いの場、つながり（つながりにくい）、平日昼間の学校以外の
子どもの居場所、異世代との交流の場、信頼 など そこには酒、食

(物理的な場所、機会的な場所)

やりたい、挑戦したいことが叶うといいな、多様性を尊重する、
無理しない、苦を感じたくない、新スタイルのコミュニティ

③インフォメーション

まちの情報発信、情報がまとまっていない、広報媒体情報の集約

④ライブ

中心市街地と支所地域との格差、気軽に暮らすには家賃が高い、
景色を歩いて楽しむ、休む場所、メンタルヘルス、
地元出身でないカップルはどうやって子育てをしている

⑤アート

芸術の力、ライブハウスがない